

- 海外に依存している肥料資源を**窒素、リン**を有する**下水汚泥資源の活用**を通じて国内で**安定的に確保**することは、我が国の食料安全保障の観点から**極めて重要**。
- これまでの**下水道の普及や技術開発の進展等**により、**下水汚泥資源を活用した肥料供給システムが一部で展開**。
- 製造価格や地域に適した肥料の製造、農業者・消費者理解の増進等、**残された課題を農水省・国交省が設置する検討会において議論し、両省の連携による実証やPR活動、マッチングの推進等で突破**することで、下水汚泥由来の**国産窒素・リン資源の肥料としての活用**を進める。

みどりの食料システム法の成立（R4）

下水汚泥資源の肥料化の現状

- **下水道の普及や下水汚泥の処理技術の進展により肥料活用モデルが誕生**

回収リンでの利用

- 神戸市・福岡市
汚泥からリンを回収し肥料として利用



汚泥コンポストでの利用

- 北海道岩見沢市
下水汚泥肥料を100%地元農地還元
- 山形県鶴岡市
JA 鶴岡と協力し汚泥を肥料化、販路を確保・拡大
- 佐賀県佐賀市
下水汚泥肥料の活用で農業者の肥料購入経費を削減
- 岐阜県中津川市
農業集落排水汚泥をコンポスト化して農地に還元



残された課題

回収リンでの利用

- ・回収リンの成分のバラツキや固有の特性（即効性がない）を踏まえた肥料の製造
- ・下水汚泥からの回収リンは高コスト

汚泥コンポストでの利用

- ・コストが安く作物生産に有効な肥料であることの周知
- ・下水道事業者と肥料の生産・流通業者・農業者とのマッチングの推進
- ・汚泥中の重金属成分等のモニタリング
- ・下水汚泥肥料以外の堆肥等との利用に関する連携

共通

- ・汚泥処分方法の選択肢としての下水道管理者の理解増進
- ・肥料の形状や地域の気候・土壌・品目に応じた営農技術の確立
- ・農業者・消費者理解の増進による需要拡大

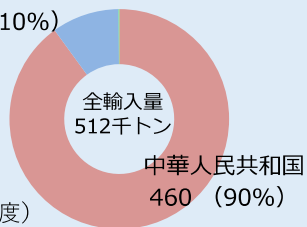
課題

農業

輸入に依存している**リン資源の確保は食料安保の観点から喫緊の課題**。

リン安の輸入先

アメリカ合衆国 51 (10%)
その他 1 (0%)



下水処理

脱炭素社会や循環型社会の実現に貢献するため下水汚泥の燃料や肥料による活用を努力義務化。

現状では、**緑農地に利用**されている下水汚泥は**約 1 割**

下水汚泥資源を肥料として農業に活用